

2007年9月27日

株式会社村田製作所

セイコーエプソン株式会社

村田製作所、セイコーエプソンが 『ワイヤレス急速充電システム』の共同開発に取り組むことで合意

【要 旨】 このたび、株式会社村田製作所（以下、村田製作所）とセイコーエプソン株式会社（以下、エプソン）は、大幅に充電時間を短縮する『ワイヤレス急速充電システムの共同開発』に取り組むことで合意しました。
なお、本共同開発における試作品を、「CEATEC JAPAN 2007」（幕張メッセ・10月2日～6日）において、村田製作所ブースにて展示。「Embedded Technology 2007」（パシフィコ横浜・11月14日～16日）では、エプソンブースにて出展の予定です。

【背景・目的】 携帯電話、携帯オーディオプレイヤー、ノート PC など、モバイル機器が普及し、また、その高機能化が進んでいる中で消費電力も増加しているため、一度の充電で、使用可能な時間をいかに伸ばすかが大きな課題となっており、今後は充電頻度も増えることが想定されます。
今回、両社で共同開発を目指す小型・薄型の『ワイヤレス急速充電システム』は、充電時間に1～2時間を要する既存の充電システムに対して、充電時間を10～15分程度にまで短縮させる画期的なものです。また、ワイヤレス充電にすることで、機器ごとに分かれていた充電器を、一つの充電器に共有することも可能です。当システムは、今後、充電頻度が増える中で、その利便性を大きく改善する可能性があります。
村田製作所は、小型・薄型モジュール、電源回路技術で実績を持っており、さらに新規事業として開発を進めるLiイオン二次電池は、大電流の急速充電が可能です。また、エプソンでは、従来から非接触の高効率電力伝送システム開発を行っており、認証システムとIC技術を保有しています。両社は3年以内の実用化を目指して、共同開発に取り組むことで合意しました。

- 【開発の分担】**
- 1) 村田製作所
 - ①急速充電バッテリーの開発
 - ②二次側（バッテリー）モジュールの開発
 - ③セラミックス応用技術
 - ④電磁界および熱シミュレーション技術
 - 2) エプソン
 - ①ワイヤレス急速充電システム用ICの開発
 - ②高効率電力伝送コイル/システムライセンス提供
 - ③システム開発、システムサポート
 - ④一次側（充電器）モジュールの開発

【会社概要】

商 号 : 株式会社 村田製作所 (Murata Manufacturing Co., Ltd.)
設 立 : 1950 年 (創業 1944 年)
本 社 : 京都府長岡京市東神足 1 丁目 10 番 1 号
資 本 金 : 693 億 76 百万円
従 業 員 数 : 5,832 名 (連結 29,392 名)
事 業 内 容 : 積層セラミックコンデンサ、セラミックフィルタ、セラミック発振子、表面波フィルタ、多層デバイス、誘電体フィルタ、アイソレータ、回路モジュール、各種電源、EMI 除去フィルタ、各種センサ、各種コイル、サーミスタ、半固定可変抵抗器、抵抗ネットワーク、高圧抵抗器
他の製造販売
売 上 : 566,805 百万円
関 係 会 社 : 56 社 (国内 23 社、海外 33 社)

商 号 : セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
設 立 : 1942 年 5 月 18 日
本 社 : 長野県諏訪市大和三丁目 3 番 5 号
資 本 金 : 532 億 400 百万円
従 業 員 数 : 13,039 名 (連結 87,626 名)
主 要 事 業 : 情報関連機器 (プリンタ、スキャナ等コンピュータ周辺機器およびパソコン、液晶プロジェクター等映像機器)、電子デバイス (ディスプレイ、半導体、水晶デバイス)、精密機器 (ウォッチ、眼鏡レンズ、FA)、その他の開発・製造・販売・サービス
売 上 : 連結 14,160 億円 / 単体 8,371 億円 (2007 年 3 月期)
関 係 会 社 : 117 社 (国内 33 社、海外 84 社) (2007 年 3 月 31 日現在)

以 上